

学校教育評価表（小・中学校）

学校名

大津市立 真野中

学校

評価の基準（3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった 0:まったくできなかった）

項 目	評 価 の 観 点		自己評価 (3・2・1・0)	学校関係者評価 (3・2・1・0)	関連するSDGsの 目標(参考)
主体的・対話的で深い学 び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	3	3	
	2	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善(ICTの活用含む)	3		
	3	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会の実施	3		
道徳教育の充実	4	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	3	3	 
	5	道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流	3		
	6	保護者等への道徳科の授業公開	3		
体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	3	3	 
	8	体力づくりを推進する運動実践	2		
	9	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	3		
指導改善 (組織的・計画的)	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	2	2	 
	11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	2		
	12	働き方改革の取組と教育活動の質の改善	3		
育ちと学びを支える 連 携					
① 家庭・地域との 連携・協働	13	保護者の子育てに対する積極的な支援	3	3	 
	14	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2		
	15	防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくり	3		
② 保幼小中の 連 携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業	2	2	
	17	校種間の授業公開や合同研修会	2		
	18	保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究	2		
組織的体制の 充 実					
① 生徒指導体制の 充 実	19	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導 ※	3	3	 
	20	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進 ※	3		
	21	家庭・地域・関係機関との連携による指導	3		
② 特別支援教育の 充 実	22	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	2	3	 
	23	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	3		
	24	関係機関と連携した相談体制の充実	3		

※ 特にいじめについては、学校基本方針の評価と関連させて行うこと

学校満足度	25	児童生徒の学校満足度	3	3
-------	----	------------	---	---

※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.45
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.31

* 各校の学校評価書から上記の1～25の観点にかかる自己評価および学校関係者評価結果を取り出し、本表に移記ください。

* 評価の項目と関連があると考えられるSDGsの目標を参考として表示しています。

項目			評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目	市教委 学校評価 表との 関連	ア ン ケ ー ト			自 己 評 価			学校関係者評価	今後の改善 に向けて
					データ 【左】 ① そう思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ そう思わない 【右】			評価	本年度の取組と分析	意見・提言等		
					生 徒		保 護 者				教 職 員	
豊かな心を育む教育	1 生徒指導	生徒	先生は、いじめや暴力行為等の問題に対して素早く対応している。	生徒指導体制の充実	全校		全校		R4	A [R 3] 3.6 ↓ [R 4] 3.76	◆いじめ等、生徒指導上の問題に対しては、未然防止・早期発見に努め、生徒指導主事、子ども支援コーディネーターが中心となり、毅然とした態度で組織的に対応した。特にいじめに対しては、教員の生徒観察だけでなく、生活ノートの点検、定期的なアンケート、第三者の生徒や保護者からの声を見逃すことなく、初期段階でいじめ対策委員会を開くことができ、個々の生徒に丁寧な指導を行うことができた。 ◆生徒会とも連携し、いじめ防止の啓発活動に力を入れ、保護者には「いじめ基本方針」のホームページ掲載やきらり(生徒指導便り)」等の通信を介し情報発信・連携にも力を注いだ。	★ 落ち着いた学校環境・学校生活の維持創造 ・生徒に寄り添う、きめ細かな組織的対応の実践・初期対応の充実。 ★ 生徒の悩みやいじめの早期発見 ・生活ノート(ライフ)や教育相談等による実態把握・生徒観察の継続。悩みの声を拾い上げる多角的なアプローチ方法を確立する。
		保護者	先生は、いじめや暴力行為等の問題に対して素早く適切に対応している。		3年		3年		R3			
		教職員	いじめや暴力行為等の問題に、素早く、毅然とした態度で対応している。		2年		2年		R2			
	2 道徳・人権教育	生徒	学校で、命の大切さや思いやりの気持ち、社会のルールについての指導をうけている。	道徳教育の充実	全校		全校		R4	A [R 3] 3.4 ↓ [R 4] 3.72	◆各学年道徳教育担当者が中心となり、学年生徒の実態に即した教材の選定・開発に取り組み、心を育む教育活動を展開した。タブレット端末を活用した授業では自分の意見をしっかりと出してグループで交流ができた。 ◆「道徳」授業参観は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら実施し、保護者とともに学校協力者会議のメンバーも参観した。(10月26日) ◆人権週間の期間中に、全学年で人権学習を実施し、2年生では外部講師を招いてLGBTQの講話を、3年生では「命の学習」を助産師を招いて実施し、各学年ともに生命・人権尊重・多様性等について学習を深めた。1年生は2月1日に講師を招いて「聴覚にしようがいのある人」について学ぶ予定である。	★「特別の教科 道徳」の充実した実践 ・授業時数の確保 ・生徒の実態に即した教材選択や教員の共通理解 ・「評価」に対する共通理解 ★ 人権教育の更なる工夫・改善 ・地域人材の有効活用による人権学習（体験学習）の推進
		保護者	学校で、命の大切さや思いやりの気持ち、社会のルールについて適切な指導をしている。		3年		3年		R3			
		教職員	命の大切さや思いやりの気持ち、社会のルールについて適切な指導ができています。		2年		2年		R2			
	3 体験活動	生徒	学校は、いろいろな学習、体験活動を通して、友達と協働しながら活動を進めるすばらしさや、自主性や表現力を育てようとしていると思う。	協働的な学び	全校		全校		R4	A [R 3] 3.3 ↓ [R 4] 3.48	◆今年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながらふるさと体験学習・校外学習・修学旅行?を実施することができた。2年生は職場体験学習は中止になったが代替授業として行った「キャリア教育のプログラム学習」に生徒は意欲的に取り組んだ。 ◆各教科の授業については、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら読み解く力の育成を視点においた「学び合い」学習を効果的に行った。また、タブレット端末を活用した学習に積極的に取り組んだ。さらに、3年ぶりに講師を招いた授業研究会を2回行うことができ教職員の意識向上につながった。先進校を2校訪問し「協働的な学び」について教職員に還元した。	★「学び合い」学習の継続的な実践・質的向上 ・職員研修の継続、充実 ・小学校との連携、交流強化 ★ 体験活動の重視 ・体験活動の充実、見直し ・自主性、表現力、豊かな心情の育成
		保護者	学校は、いろいろな学習、体験活動を通して協働する体験、自主性や表現力、豊かな心を育てようとしている。		3年		3年		R3			
		教職員	いろいろな学習、体験活動を通して協働する体験、自主性や表現力、豊かな心を育てようとしている。		2年		2年		R2			
	4 教育相談	生徒	勉強や進路、友だちのことなどについて気軽に先生に相談できる。	教育相談	全校		全校		R4	A [R 3] 3.2 ↓ [R 4] 3.64	◆学期ごとに教育相談期間を設定し、学級担任を中心に学級生徒全員との相談活動を実施し、気軽に教師と相談できる関係づくりに努めた。 ◆教員が生徒と向き合う時間を大切にし、休憩時間や昼休みの時間を活用し生徒とのコミュニケーションを積極的に図りこ生徒との人間関係の構築に努めた。 ◆生活ノートやアンケートを活用し早期に悩みに気づき、早期に生徒にアプローチできるように取り組んだ。	★教育相談活動の充実 ・生徒と向き合う時間確保 ・校内ケース会議の充実 ・スクールカウンセラー、各関係機関との協働・連携
		保護者	学校は、勉強や進路、友だちのことなどについて、子どもの相談に気軽に応じている。		3年		3年		R3			
		教職員	勉強や進路、友だちのことなどについての生徒の相談に快く応じ、適切なアドバイスができています。		2年		2年		R2			
	5 学校満足度	生徒	全般的には、楽しく学校生活を送っている。	学校満足度	全校		全校		R4	A [R 3] 3.4 ↓ [R 4] 3.68	◆質問項目「楽しく学校生活を送っている」に対する肯定的な評価(そう思う・どちらかといえばそう思う)は、全校生徒の90%に達している。また保護者においても学校生活については肯定的に受け止めていただいている。 ★コロナ禍で制限されていた教育活動を行うことができたことやその結果生徒の成長を実感できたことが教職員の意欲を高め高評価につながったと考えられる。 ★今後は、否定的な回答をした生徒の要因を探り、生徒との良好な関係を築きながら、きめ細かな指導に力を注ぎ、より魅力ある学校づくりを行っていく必要がある。	★地域とともにある学校づくりの推進 ・生徒、保護者、地域の期待に応えられる教育実践の推進 ★情報発信、学校公開の推進 ・保護者、地域からの理解の促進、支援の協力の向上 ★学校満足度の向上 ・学校行事の質的な充実と授業改善のさらなる推進
		保護者	子どもは、学校生活におおむね満足している。		3年		3年		R3			
		教職員	生徒が楽しく、いきいきと学校生活を送ることができるように学校、学年、学級経営等を進めている。		2年		2年		R2			

項目			市教委 学校評価 表との 関連	ア ン ケ ー ト			自 己 評 価			学校関係者評価		今後の改善 に向けて		
				データ 【左】 ① そう思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ そう思わない 【右】			評価	本年度の取組と分析	意見・提言等					
				生 徒		保 護 者				教 職 員				
6 特別活動	生徒	体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動に積極的に参加している。		全校 		全校 		R4 		A [R 3] 3.3 ↓ [R 4] 3.75	◆今年度は新型コロナウイルス感染症予防策を講じながら、3学年が集まり真野フェスタ(文化の部・体育の部)をおこなうことができた。生徒は3学年とも生徒は意欲的に取り組み、フェスタ当日は笑顔があふれ生徒の満足した様子がうかがえた。真野フェスタへの取り組みを通して、学級・学年への所属感を高め、団結・協力を深めることができた。	A 感染症対策を講じながら教育活動を止めない工夫ができています。	★真野フェスタ(体育祭・文化祭)の充実 ・生徒の達成感や満足感、自尊感情の向上に繋がる取り組みの推進 ★生徒会活動の活性化 ・自治能力の育成 ・生徒主体の活動支援	
	保護者	子どもは、体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動などに積極的に参加していると思う。		3年 		3年 		R3 						
	教職員	体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動に生徒が積極的に参加できるように工夫している。		2年 		2年 		R2 						
7 体力づくり	生徒	規律正しい日常生活を送り、健康と体力の保持・増進に努めている。	体力づくり	全校 		全校 		R4 		A [R 3] 3.3 ↓ [R 4] 3.44	◆生徒は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、昨年度に引き続き健康・安全面に注意を払い、規律ある生活を心がけていた。学校保健の立場から、養護教諭が中心となり予防策の徹底を図ることができた。また保護者への注意喚起にも、こまめな情報発信に努めることができた。 ◆昨年度引き続き駅伝に男子チームが勝ち進むことができた。 ◆今年度、体力づくりについては、マスク着用などの感染対策は講じたが、部活動や体育の授業に熱心に取り組む生徒の姿が見られた。	A 子どもの体力の低下を防ぐ手立てを考えてもらいたい。	★健康・安全への注意喚起・情報発信の推進 ・事故等の未然防止 ・感染症・熱中症等の未然防止対策 ★体力づくりの推進 ・体力向上に向けた保健体育科の学習内容の充実。 ・生徒の自主的な活動による部活動の活性化。	
	保護者	子どもは、節度ある日常生活を送り、健康と体力の保持・増進に努めている。		3年 		3年 		R3 						
	教職員	節度ある日常生活をおくり、健康と体力の保持・増進に生徒が努めるよう心がけている。		2年 		2年 		R2 						
学力向上に向けた取り組み	8 学習指導	生徒	指導改善	全校 		全校 		R4 		B [R 3] 3.4 ↓ [R 4] 3.83	◆「学校の授業はわかりやすい」と肯定的に回答した生徒は80%を超えている。一方、保護者のアンケートは厳しい結果になった。 ◆一方、教職員はタブレット端末の活用、学び合い学習の実施など工夫しながら授業を進めることができています。また、3年ぶりに授業研究会を実施することができ授業改善に向けて話し合いをもつことができた。 ★今後も定期的な研修を継続し「学び合い」学習やタブレット端末を活用した「協働的な学び」をさらに効果的な教育活動にしていき、さらに「わかりやすい授業」づくりに努めたい。また、保護者に授業の進め方を理解してもらうために授業参観や情報発信を積極的に進めていきたい。	B 「授業がわからない」生徒の理由を探り、それを解決する手立てを考えてもらいたい。	★「協働的な学び」による授業改善の推進 ・「学び合い」学習の質的向上 ・タブレット端末を効果的に活用した授業づくり。 ・魅力ある分かる授業の創造 ・教師の授業力向上 ・誰一人取り残さない「個別最適な学び」の推進。	
		保護者		子どもは、一般的に学校の授業がわかりやすいと言っている。	3年 		3年 		R3 					
		教職員		わかりやすく意欲的に生徒が授業に取り組むための工夫をしている。	2年 		2年 		R2 					
	9 評価	生徒		全校 		全校 		R4 		A [R 3] 3.4 ↓ [R 4] 3.83	◆昨年度から導入された新しい学力観にもとづく「学習評価」は生徒・保護者にも浸透し、通知表(学習評価)に対する生徒・保護者の否定的な見方は少なかった。妥当と考える肯定的評価は保護者に比べ、生徒の方が少ない。 ★通知表には、定期テストの点数だけでなく日々の主体的に学ぶ態度や課題に取り組んだ内容等が通知票に反映されていることが周知が不十分である。通信や懇談会等を通して生徒の様子を伝える等、保護者に周知できるように情報を提供していく必要がある。	※	★自己評価力の育成 ・授業での「めあて」の明示、「振り返り」時間の確保 ★新しい学力観にもとづく学習評価と連動した授業実践や課題設定の必要性	
		保護者		通知票では、子どもの学習の状況が適切に評価され、学習状況や学校生活がよく分かる。	3年 		3年 		R3 					
		教職員		生徒の学習の状況を通知票等を通して、生徒や保護者がわかりやすく、納得いくように評価できている。	2年 		2年 		R2 					
	10 学習習慣	生徒		全校 		全校 		R4 		B [R 3] 3.0 ↓ [R 4] 3.25	◆全国学力・学習状況調査(3年生)から、家庭で宿題や予習・復習を計画的・主体的に進められない生徒は少なくない。その一因として、スマホやゲームを利用する機会が多く、家庭での学習時間を確保できていない現状がある。テスト前の補充教室(まのまると教室)等をきっかけに主体的に学習に取り組む習慣づけを図りたい。また、主体的な学習に取り組む態度を育む指導にも力を入れる必要がある。特に保護者は課題の適切な提供を求めている。 ★学習の必要性等については、中学卒業後の見通しをもつことができるように系統的なキャリア教育を行い、将来の目標の設定と学習意欲の向上につなげていきたい。	B 塾に通っている割合はどれくらいなのか。塾の影響が家庭学習とどのように影響しているのかを考察しても良いのでは。	★学習支援の充実 ・主体的に学ぶ態度の育成 ・補充教室、質問教室の充実(まのまると教室) ・「寺子屋プロジェクト」(地域連携)の継続的な取組の推進 ★家庭学習の充実 ・教科部会を活用して効果的定期的な課題の提供について話し合う。 ・家庭での学習課題の提供、保護者連携	
		保護者		学校は、宿題や課題などで、学習習慣を身につけさせ、家庭学習に取り組めるようにしている。	3年 		3年 		R3 					
		教職員		学習習慣を身につけさせ、家庭学習に取り組めるように、宿題や課題を適切に出している。	2年 		2年 		R2 					

項目		評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目		市教委 学校評価表との関連		アンケート			自己評価		学校関係者評価	今後の改善 に向けて		
						データ【左】① そう思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ そう思わない 【右】			評価	本年度の取組と分析	意見・提言等			
						生 徒		保 護 者					教 職 員	
地域に信頼される学校づくり	11 安全指導	生徒	学校で、交通ルールや緊急時の対応など生徒の安全面について、必要に応じて指導を受けている。		全校		全校		R4		A [R 3] 3.4 ↓ [R 4] 3.68	◆自転車通学生のマナーについては、ルール違反に対する個別指導はもちろん新聞報道されている交通事故等にもふれながら、タイムリーに集会や学級で指導している。また、生徒指導だよりによる啓発や一斉下校時の下校指導を通して生徒の自覚を促している。 ◆学校事故の未然防止に向けては、毎月の安全点検による施設管理や養護教諭を中心に安全啓発に取り組んでいる。	A 学校の広い道をスピードを出して走っている生徒がいる。	★「命」を守る指導の徹底 ・自転車通学生の保険加入、通学マナー、安全教育の徹底 ・学校安全点検（施設管理）、安全啓発の徹底
		保護者	学校は、生徒の安全対策や安全指導などにきちんと取り組んでいる。		3年		3年		R3					
		教職員	生徒の安全対策や安全指導などに高い意識をもって取り組んでいる。		2年		2年		R2					
	12 家庭生活	生徒	家庭で、日頃から学校や友人のこと、困っていることについて保護者とよく話をする。		全校		全校				B [R 3] 3.1 ↓ [R 4] 3.28 【保護者】	◆学習塾等、習い事が増え、思春期を迎える中学生の時期は、家庭で親子の会話時間を確保することは少しずつ難しくなる。学年が上がるに従って親子間での対話時間が確保されていない。 ◆学校での様子や友だちのことを話す機会が増えるようホームページ・通信等を通じて、タイムリーな話題提供に努めることが必要である。	B 家庭生活について、学校としてできることはあまりないのではないか。	★親子の会話を促す情報提供の推進 ・各種通信、メール配信等による定期的な情報提供 ・学校ホームページの積極的活用
		保護者	子どもとは、日頃から学校や友だちのこと、困っていることについてよく話をする。		3年		3年							
		教職員			2年		2年							
	13 情報提供	生徒	学校からの通信やたよりなどをきちんと保護者に渡している。		全校		全校		R4		A [R 3] 3.1 ↓ [R 4] 3.42	◆学校だより・学年通信・生徒指導だより・保健だより、学級通信等々の保護者向け通信を定期的に発行し、情報提供に積極的に努めている。（但し、子どもから保護者に渡っていないケースも多々あるようである。） ◆今年度は、ホームページにより情報提供を積極的に行った。今後も有効な情報提供源として充実させたい。	A さらに、より良くしていくという意味で改善していくところは、まだまだあるのではないかと。	★メール配信・ホームページの積極的な運用 ・保護者への確実な情報伝達の確立
		保護者	学校は、通信やたよりなどで学校生活や進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。		3年		3年		R3					
		教職員	学級、学年通信等で保護者に適切な連絡や、情報提供ができています。		2年		2年		R2					
	14 保護者支援	生徒		家庭との連携			全校		R4		A [R 3] 3.4 ↓ [R 4] 3.92	◆学校生活の中で気にかかる生徒については、積極的に保護者に連絡を取り保護者と情報交流を図っている。 ◆電話連絡のみならず必要に応じて家庭訪問を行ったり、学校へ来校してもらうなど、その都度適切な対応を心がけ、保護者とは綿密な関係づくりに努めている。 ◆1学期・2学期に個別懇談会を実施し保護者との信頼関係を構築するとともに、生徒への適切な支援の仕方や課題について話し合う機会をもつことができた。	A 保護者への連絡を丁寧にしてもらっている。	★保護者との信頼関係の構築 ・保護者の困り感への対応 ・正確かつ迅速な説明
		保護者	学校は、必要に応じて適切に保護者と連絡を取り合い、しっかり話をしている。				3年		R3					
		教職員	必要に応じて適切に保護者と連絡を取り合い、しっかり話をしている。				2年		R2					
15 PTA活動	生徒	地域の行事や活動にできるだけ参加、協力しようとしている。		全校		全校		R4		B [R 3] 2.7 ↓ [R 4] 3.08	◆生徒・保護者・教職員ともに昨年度よりも評価は改善されている。真野北文化祭、真野文化祭には本校の吹奏楽部、美術部・4組が参加することができた。新型コロナウイルス感染症対策の影響で、まだまだ各種地域行事が中止されたり、ボランティア活動も制約を受けている。 ◆真野フェスタ「体育の部」にむけてグラウンドの草引きを多数のボランティアが参加して行うことができた。 ★社会科の授業に地域の方がアドバイザーとして参加いただいた。 ★来年度は「コミュニティスクール」に移行する予定なので、「まのまる夢プロジェクト」のSDGsの取り組みを地域と連携して進めることができるように検討していきたい。	B 働いている保護者が多いので、PTA活動や学校行事に参加できない保護者が増えていいる。見直さなければ	★コミュニティスクールへの移行に伴う地域との双方向の関係づくり ★生徒のPTA・地域・ボランティア活動への参加促進及び協力支援 ・生徒会活動との連携 ・部活動等の配慮による参加体制への協力 ★PTA組織への参加・活動内容の見直し	
	保護者	地域の行事や活動、PTA活動にできるだけ参加、協力しようとしている。		3年		3年		R3						
	教職員	地域の行事や活動、PTA活動にできるだけ参加、協力しようとしている。		2年		2年		R2						

※ 学校アンケート【保護者用】 自由記述について （回答）

種別		その他、学校運営に関しましてご意見・ご要望・ご質問等ございましたら、ご自由にお書きください。 (いただいたご意見・ご質問等)	回 答
7 13 16	HP	ホームページが大変分かりやすくなり良いです！	ありがとうございます。随時更新に努め学校の動きや子どもたちの様子を発信していきたいと思います。
		業務が多忙であるのにホームページに日々の事を更新して下さり、学校の様子がわかり感謝しています。	
		ホームページが改善されて有り難い。	
19 11 6 24	学校行事	体育祭など、直接取り組みの姿を見ると安心したり、学校の様子を知れたりするのでコロナ禍ではあるが、オープンな学校にしてほしいと思います。	新型コロナウイルスの感染症法上の分類について『5類』引き下げの政府の方針もあり、コロナ以前と同様までとはいかないものの、感染症対策を講じて積極的な学校公開に努めていきたいと考えております。
		職場体験、他校はされてます。他校と同じように行事等してもらいたいです。	市立中学校18校の内、実施に踏み切ったのは3校で、実施した学校も規模を縮小したり、実習はなしで職場訪問という形で実施されたようす。コロナ禍での実施には、まだまだ解決しなければならない課題が多いように感じています。(市外は実施した学校が多いように最近知りました。)来年度の実施については前向きに検討して参ります。
		参観日など大勢が集まる時は仕方がないとは思いますが、懇談の時は駐車場がないと辛いです。徒歩で行ける距離ならいいのですが、小学校とも懇談時間を兼ね合っているのではなかなか辛いです	2学期末の三者懇談会のように、一斉でなく個別で時間指定のある場合については、駐車場の確保を検討致します。
		行事に参加したい学区外の保護者のことも考えてほしいです。交通が不便のため車の乗り合わせなどの対処を考えてほしい。	入学式と卒業式以外の学校行事では、どの保護者様にもお車での来校をお断りさせていただいております。但し、特別な事情がある場合につきましては、ご相談させていただき検討致します。
9 25 18	教科指導	教科担任の子ども達への対応が悪く、人権を無視したようなこともあり、学校へ行きにくい時があったり、精神的苦痛を感じている。子ども達側からの学校対応へのアンケートをするべき。保護者の視点も大切なものかもしれないが、子ども自身の感想意見を言える場が必要	どのような場面でのご指摘かは具体的には判断がつきませんが、教科担当の生徒への対応について、子どもたちに不快な思いをさせたことと保護者の方にもご心配をおかけしたことを先ずお詫び申し上げます。子どもたちの声に耳を傾け、改善してまいります。生徒アンケートにも自由記述の欄を設置しておりますので、声を上げていく生徒の意見にも丁寧に対応してまいります。
		いつもお世話になりありがとうございます。子どもは数学がどちらかといえば苦手です。塾には通っていませんが参考書を購入して学習させております。中には理解できない問題があり、「学校の先生に聞いておいで」と言うが、質問はしない。学校で使用しているワーク以外の参考書の問題を解説してもらいたい。テスト前だけでなく質問教室をもう少し頻繁に開いてもらうことはできないのか。先生方はお忙しくされていることは重々承知しているが、検討をお願いしたい。	テスト前に「まのまるっと教室」の名で質問教室を行っておりますが、要望されているテスト期間以外の質問教室は現在実施しておりません。というのも放課後の時間帯には部活動の指導もあり、時間設定をするのが難しいのが現実です。しかしながら、水曜日等、部活動のない日の放課後には、短時間であれば質問教室を定期的に行うことは可能ではあると考えます。実際、水曜日は部活動がない代わりに、会議の日に当てており、30分程度の短時間であれば定期的な質問教室が行えるのではないかと、検討を進めて参ります。また、質問があればいつでも個別に対応はしておりますが、教科担当の先生に話しかけにくいのであれば、その点については、質問しやすいように努力すべきであると思います。
		先日解き方がわからない問題を個別に聞きに行ったそうです。その際、その教科の先生は「君の志望校ならその問題が解けなくても大丈夫」と仰ったそうです。このような対応に親子とも酷く驚きました。子どもは少しでも解ける問題を増やし、受験に向けて頑張っているのに、このような発言をされたことに驚きを隠せません。高校に進めばより一層難しくなります。解けなくても良い問題などないと考えます。今回どのような意図での発言か分かりかねますが、非常に残念です。ほとんどの教科の先生方は熱心に指導してくださっています。子どもも概ね学校生活に満足していますし、担任の先生もきめ細かな指導をしてくださっています。	教科担当の発言の真意は分かりませんが、ご指摘の発言は不適切であり配慮にける対応であったと、お詫び申し上げます。
8		8における、授業のわかりやすさについて、科目による。英語は、覚える事が多いのは仕方がないとしても、勉強する範囲が広すぎて分かりにくいとの事。	英語の『覚えることが多い』『勉強の範囲が広すぎる』のご指摘の2点について、全生徒に指導やアドバイスすべき事と、個別に対応すべき事があると思います。是非英語の勉強方法について、お子さんに担当の教師にアドバイスを求めるようお願いください。また、宿題等のない場合の家庭学習の仕方等については各教科からお伝えさせていただきます。
15 20	教職員	真野中だけではありませんが、子どものような先生が見受けられます。子どもと共に学ぶことも必要ですが、子どもにとっては1番身近な社会人ですので、指導者として覚悟を持って仕事に臨んでいただけるとありがたいです。	ご意見ありがとうございます。子どもたちと年齢が近いことは目線も同じ高さがあり、より子ども達の気持ちに近い感覚で接することができるという反面、ご指摘のように先生と友だち感覚で接するような場面もあるのも事実だと思います。教育公務員として、また一社会人として、また一人の人間として、子どもたちの成長をサポートできるように努めて参ります。
		学校入学説明会の部活紹介において、バドミントン部の顧問及びキャプテンの『来年入部はもっと少ない方がいい』的な発言はいかがなものかと思う。これから新生活に向けて楽しみにしている子ども達への配慮が感じられなかった。それで入部を諦めた子もいたと聞いた。先生方の働き方改革で、部活の負担も大きいかと思いますが是非改善よろしくお願いします。	昨年度の入学説明会での発言だと思いますが、確かに不快に思われる方もおられる発言であったと思います。実際、現3年生を含めるとバドミントン部の部員は男女合わせて約60名(全生徒の20%)います。練習場所や割り当てられた練習時間から部員数が多いため十分な活動ができないかもしれないということを説明会で伝えるべきであって、決して入部を拒むような内容のものであってはならないと思います。今年度については、事前にチェックしたいと思います。

※ 学校アンケート【保護者用】 自由記述について （回答）

	種別	その他、学校運営に関しましてご意見・ご要望・ご質問等ございましたら、ご自由にお書きください。 (いただいたご意見・ご質問等)	回 答
21	宿題	宿題が日々出されていないと子どもから聞きます。単元毎に終わればワークなどの宿題をしていれば家庭での学習習慣もつき、テスト前にワークの締切に追われて勉強するというよりは課題をこなすだけになっています。毎日継続的に宿題などさせて欲しいです。継続して学習しないと受験できっと苦勞すると思います。ホームページがしっかり更新されていますが、部活動欄には、野球部の情報しかマメに更新されていません。先生の性格にもよるのかもしれませんが、他の部活の情報も更新してほしいです。	中学校では教科毎に宿題が出されるので、宿題が多かったり少なかったりと偏りもあり、小学校のように毎日適当な量を継続的に宿題を出すことが難しいと思います。そこで、各教科担当から、日々宿題を出すことも検討しますが、それと合わせて、宿題があるなしにかかわらず、日々教科毎の予習や復習の仕方や学んだことを理解しているかのチェックの勉強方法を、各教科担当からの指導を強化したいと考えています。また、HPの部活動欄ですが、本来部活連絡用ではありますが、他の部活動にも活動状況等を積極的に発信するよう呼びかけます。
22		宿題しかないので、もっと量を増やしてください。全然、机に向かいません。課題がない日が続くときもあるし、土日の分も考えて多くしてほしい。	同上
14	生徒指導	下校時に歩きスマホをしている生徒を見かけます。	近年、生徒のスマホの所持率が年々高くなり、それに比例してスマホ依存やSNS等でのトラブルが増加しています。本来学校生活には不要の物で、学校でもその使い方やマナーについて指導はしておりますが、ご家庭におかれましては、家族で使い方のルールを設けるなどご指導いただくことも重要かと思います。
3	通学	学区外の自転車通学を認めてもらいたいです	本市では市立の小・中学校に入学される場合、「天津市立学校の通学区域に関する規則」に基づき、お住まいの住所によって通う学校を指定していますが、新入学される際には、指定される学校以外でも希望があれば施設に余裕がある限り、選択範囲の中から学校を選ぶことができる「学校選択制」を実施しています。その「学校選択制」の留意事項には、学校選択制により学区外の学校へ通学する場合、公共交通機関を利用して通学することとあり、本件について中学校が許可や回答する立場にありません。そういったご意見があることは以前から、天津市教育委員会学校教育課に伝えてはおりますが、現状として、許可されることは難しいと思われます。
1	年間行事	一年の予定表を、仮でもいいので事前に教えてほしい。もしくは、1ヶ月半前には教えてほしい。フルタイムで仕事をしているので、急に言われても対応できない。	真野中のホームページに年間行事予定をUPしました。変更等生じる事がありますが、その都度更新していきたいと思います。
12		年間予定表もしくは、半年単位でもいいのでおおまかな予定が事前に知りたいと思います。ホームページなどに掲載していただけるとありがたい。部活の1ヶ月の予定が直前までわからないので予定が立てれなくて困ることがある。	年間行事予定については、ホームページにUPしましたので、ご確認ください。部活動の予定につきましては、できるだけ早く顧問から配付するように致しますが、お急ぎであれば、直接顧問に週休日祝日の予定についてお尋ねください。
17		もう少し学校の連絡を早くして欲しい。親にも予定があるので困ります。	遅くとも、1ヶ月前にはお知らせを出すようにします。
2	部活動	中体連や練習試合など、有観客にして欲しい。大学や高校は事前に申し込みなどを行って観覧出来るようになっていきます。中学校だけ無観客なので、ワクチン接種証明を持参するなどでもいいので有観客にして下さい。今の子ども達の頑張っている姿を見たいです。早急に検討よろしくお願いします。	主催者や各競技の専門部によって、試合会場の広さや競技の特性等で有観客が無観客など対応が異なっており残念ながら一律でというわけにはいかない現状があります。
4	感想	丁寧に見ていただき、ありがとうございます。おかげ様でなんとか登校できています。中学校生活も折り返し地点ですね。今後はさらに自分を見つめ、進路選択をしていってほしいです。	ご意見ありがとうございます。中学生は多感な時期でありますので、ちょっとした変化やサイン等、何かお気づきの点等ございましたら学校と保護者様と情報を共有しお子さまの成長を見守っていきたいと思います。
5		子どもが毎日「楽しい」と言って学校に通っています。小学校とは違った体験がたくさん出来て、充実しているようです。部活動でも、熱心にご指導いただき、担任の先生をはじめ、たくさんの先生方にご指導いただき、大変感謝しています。今後ともよろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。今後もこのようなお言葉がいただけるようがんばります。
23		校長先生が出される便りが、子どもたちの様子が分かりやすく工夫してくださって良いなあと思います。	月1回の発行となりますが、できる限り真野中の子どもたちの様子についてお伝えしていこうと思います。
28		いつも、教員の皆様が生徒に気を配ってくださってるのが伝わってきます。特に下校の見守りは学校だけでなく、外にも出てらっしゃるのを見てそう思いました	ありがとうございます。毎日とはいきませんが、部活動のない一斉下校の際には、下校指導と安全指導に当たりたいと思います。何より安全を最優先しなければなりませんので、ご家庭におかれましては、登下校時の交通ルールの遵守やマナーについて、お話しただけると助かります。
26	その他	このアンケートについて、答えられない項目があるので工夫してほしい。	次回から、対応させていただきます。
27		バス通学が堅田方面からあると良い。	良いとは思いますが、学校としてはどうしようもありません。
10		このアンケートについて→紙面回答の場合、空欄可能でしたが、スマホ回答の場合、空欄不可でしたので、「そう思わない」で回答しています	次回から、対応させていただきます。

貴重なご意見ありがとうございました。

文責：校長 西田 勝